

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 名古屋東急ホテル
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 久野 峯一
 幹事 萩原 喜代子
 広報・会報委員長 牧野 登志子

No. 3

夢をかたちに Make Dreams Real

2008～2009年度 RI会長 李東建

きょうの例会

第1234回 平成20年 7月22日(火)
 地区特別月間 “ロータリーを考える”
 会員 鈴木 理之

先週の記録

第1233回 平成20年 7月15日(火) 晴

◆“奉仕の理想”

◆出席報告

| | | | |
|-----|--------------|-------|-----|
| 会員 | 56 (52) 名 | 出席 | 43名 |
| 出席率 | 82.69 % | | |
| 前々回 | 7月1日 (修正出席率) | 100 % | |

萩原幹事報告

- 1) 岩手・宮城内陸地震義援金は特別基金積立金より中日新聞社へ10万円をお送り致しましたのでお知らせ致します。
- 2) 今年度クラブ計画書が出来てまいりましたので、お帰りにお持ち下さい。
- 3) 7月29日(火) 例会終了後、オリエンテーションを開催致しますので担当の方はご出席をお願い致します。

久野会長挨拶

暑い日が続いていますが、皆様お変わりありませんか。

「うそをつかないで明るく生活しよう」と小学校で道徳教育を行いながら、教育行政のトップに不正が生じているとは嘆かわしいことです。

さて、今年度の2760地区ガバナーは、名古屋東南RCの片山主水氏(弁護士)です。地区方針は「持続可能な前進!!」です。簡単に表現すれば、あわてずゆっくり前に進みましょうと言うことだと思います。ガバナーは「悪その小なるを以てなす勿れ、善その小なるを以てなさざる勿れ」という箴言で表現されています。小さなことでも前進につながることであれば、お互いに厭わず実行しましょう。そしてロータリーの永遠の存続を見据え無理に背伸びせず、継続して行くことを心掛けましょう。

さらに、ガバナーの重点事項として①「ロータリー綱領の再確認」、ロータリーの綱領は、難解な文章で分かりにくいと言われているので、これを見直そう。

②「地区・分区の管理運営機構の整理」、無駄を省き、合理的で効率のよい運営を考え、委員会の統廃合を進めよう。③「調和の奉仕」、奉仕だけに偏らず、親睦だけでも偏らず、調和をもって運営して下さい。④「人的・物的強化」、会員を増強しRCの組織基盤を整えるとともに財政基礎の強化を図る。この4番目が1番重要です。過去5年間で日本の会員減少率は30%、2位のオーストラリアが6%、世界の微増の趨勢とはかけ離れた現象となっている。経済状況以外に何かロータリーに内在する原因があるはずでは。今月は「ロータリーを考える月間」です。話題・形式は問いません、何かRCの例会で企画して下さいとの要請が来ましたので、次回例会で取り上げたいと思っています。

今日は7月15日、旧暦ではお盆(盂蘭盆)ですが、現在では8月に行く所が多いようです。また、7月15日は、1月15日の上元、10月15日の下元と並べられる三元の一つの中元です。旧暦7月15日は必ず15夜の月となるので、この満月の日に半年の生存と無事を祝うとともに精霊に対して感謝をしたのです。

中国の道教では、中元の日を人間贖罪の日としていました。この影響を受け、当初は罪や穢れを贖うために、近所の人に贈物をしていました。しかし、現在は日頃お世話になっている方々への贈答へと変わってしまいました。年中行事も時代の流れの中で変化をしているのですね。

暑さに負けず元気にお過ごし下さい。

◆卓話 “古典芸能へのお誘い(落語)”

会員 加藤 顕君



古典芸能へのお誘い ～落語の魅力～

夏です。落語の季節です。

と言うわけで、今日は私の趣味の話、落語の魅力についてお話させていただきます。

東京では「落語ブーム」と言われて久しいのですが、名古屋ではいかがでしょうか? テレビで落語を題材と

したドラマが放送され、若い世代が落語を知るきっかけとなり、落語ファンにはうれしい盛り上がり方ですが、現在、落語会や寄席で活躍する落語家がテレビに出演することはほとんどありません。

では、何故「落語ブーム」なの？という疑問は当然かもしれません。

さていったい何が起きているのでしょうか？

「落語って何がそんなに面白いのですか？」とよく質問されます。これはなかなか難しい質問です。

しかし、「落語を面白く楽しむ方法はありますか？」という問いには明快に回答できます。

それは「面白い落語をライブで聴く！」ということです。

そして面白い落語を聴くには、「面白い落語家を聴きに行けばよい！」のです。

言い方をかえますと

落語の面白さはひとえに落語家の魅力にかかっています。

素敵な落語家さえ見つけられれば、落語の楽しさはすぐわかります。(落語とは「演目」を楽しむものではなく「落語家」を楽しむもの)現在はそうした素敵な、面白い落語家がたくさん育っている、誤解を恐れずに言えば「落語黄金時代」なのです。

落語は、江戸時代、軽めの講談、辻咄(辻芸)として京都の露の五郎兵衛らによって創作されました。明治時代になって三遊亭圓朝によって大成され、都市化、書物化により大衆文化として花開きました。

第二次世界大戦後の落語界は、5代目古今亭志ん生、6代目三遊亭圃生、8代目桂文楽等々、錚々たる昭和の名人を擁し、ラジオ寄席、TV放映などを通して人気を維持しましたが、大衆レベルでの古典文化の喪失、名人の死去、後継者のレベル低下、娯楽の多様化などから、他の伝統芸能と同様に人気は衰えつつある……とされていました。

具体的には2001年10月の「落語界の星」古今亭志ん朝、2002年5月の「人間国宝」5代目柳家小さんの相次ぐ「死」によって「落語界は終わった」と嘆くファンも少なくなかったようです。

しかし、こうした名人たちの死は後継者たちの危機意識を高めただけでなく、先輩名人の呪縛を解き払う効果をも併せ持っていました。

こうして21世紀に入ってから、落語界を担う多くの中堅・若手落語家たちはこれまでのしきたりに縛られることなく、自由に活動の幅を広げ、互いに切磋琢磨し、しっかりと実力をつけてきたのです。

また、古典だけでなく魅力ある新作落語を創作する才能ある若手も台頭してきました。

今「落語が注目されているというのは、テレビの「お笑いブーム」でいう「誰々がテレビで顔が売れている」というものではありません。

真に力(「魅力」「実力」)をつけた落語家がたくさん育っているということがその本質なのです。「落語黄金時代」の到来と申し上げたのもこのことに他なりません。

「面白い落語家」の「面白い落語」をライブで体験したファンが、もう一度それを体験したくてごぞって面白い落語家が出る落語会や寄席に詰め掛けていると

いうことです。

だから、お目当ての落語家が聴きにくくなっている。

だから、今、面白い落語家を聴いておかないと損です。

だから、一緒に落語を聴きに行きましょう。

では、どうやって面白い落語を体験するか？

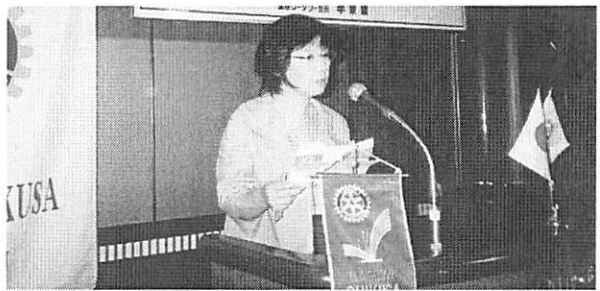
1. 寄席に行く
2. 落語会に行く
3. 落語会を開く

最後にお奨めの落語家(加藤版)この落語家を聴け！
立川志の輔・柳家喬太郎・立川談春・柳亭市馬・立川談志・柳家小三治・柳家権太楼・柳家さん喬・春風亭昇太・三遊亭白鳥・柳家三三・桃月庵白酒・古今亭菊之丞

私の独断と偏見による、今聴いて、観ておきたい落語家をご紹介しますいただきました。

クラブフォーラム

◆牧野広報会報委員長



今年度の抱負について

広報委員長就任について、事前に一切の打診はありませんでした。

しかしながら、ロータリークラブに於いては、会長、幹事の人選に異議を挟む余地はないと聞きました。

ならば、今年度の久野会長の抱負に沿って会員の負担の軽減について取組んでみたいと考えます。多忙な会員の中には、卓話の開始を合図に、ドアの向こうに消えて行く方もいます。お話をされる方に大変失礼ではと見え、外部依頼者の卓話は最小限にしたいと思っています。

更に、本日の会報にガバナーからのメッセージを掲載致しましたが、今年度は卓話の時間の何回かを片山主水ガバナーからの、次の3つの問いかけ

「自分はロータリーに何を求めているか」

「ロータリーは今何をなすべきか」

「自分は今何をなすべきか」

を、考える時間にしたいと考えています。

近々の10年の日本に於けるロータリアン数は25%を超える減少が見られています(世界的には微増)。

そこで、今年度は魅力あるロータリーを考える手掛かりを求めて、また、新旧会員の融合を図る意味でも、「語り合おうロータリーを」のテーマで活動について考える機会を設けて行きたいと思っています。

活動についてはありませんが、7月号のガバナー月信⑦ページに萩原幹事の詩が掲載されておりますのでご覧ください。

◆佐久間親睦委員長・大口ニコボックス委員長の報告は次回掲載させていただきます。

◆ニコボックスは次回掲載させていただきます。

次回例会

平成20年7月29日(火)

友愛の日